（松本地域）

令和７年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	安曇野の川からはじまる、体験学習事業を通じた人材育成と地域再生事業
事業主体 （連絡先）	安曇野明科カヌークラブ （事務局　森岡）
事業区分	教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	4,455,000 円（うち支援金： 2,999,000 円）

事 業 内 容

市民活動団体のカヌークラブとして地元の子ども達に環境活動や県外の子どもたちとの交流機会を提供してきたが、これらの活動を体験学習という軸で人材育成として取り組むことで、PDCA の考え方を定着させ、地域課題の解決に向けた取り組みを担う人材を育てる目的で本事業を実施。

クラブ内での活動に加えて、県内外で競技を行う子どもたちと合宿を行いました。また本補助金により競技用のカヌー用品を購入して大会に参加しました。これらを通して人脈や活動の幅を広げ、結果的に人材育成を進めることができた。

【練習の振返り会の様子】

【目標・ねらい】

①参加した子供たちが PDCA の基礎を理解する
②人前で成果発表できる
③地域を巻き込んだ活動とする

事 業 効 果

・地域課題解決ができる人材育成として、自分の考えを PDCA を元にまとめて人前で発表できる地域内の小中学生の目標人数を参加者：10 名以上、発表者 3 名以上（高学年以上）としていました。

	小中学生参加者数	報告会で発表者数
当初目標	10 名以上	3 名以上（高学年以上）
実績	11 名	11 名（低学年含む全員）

結果は低学年を含む参加小学生 11 名全員が、活動報告会で約 30 名の大人の前で 1 年の振り返りと来年度の抱負を発表することができた。また安曇野市イベントの環境フェアでも高学年の 2 名が活動についての紹介を発表することができました。
・地元の子ども以外にパドリングキャンプに参加した飯山カヌークラブや全国のカヌーキッズも日々の活動の振り返りを通して PDCA の基礎を身につけることができた。

※自己評価【B】

【理由】
・計画していた活動と育成プログラムをほぼ予定通り実施でき、地域を巻き込みながら、課題に取り組む基礎となる PDCA を自分で考えることができるようになった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。（今後の事業展開、取組の継続に向けた財源確保など）。

・今後は地域のクラブ活動を継続するとともに、一般社団法人を立ち上げて長野県全体に活動を広げて今より小中学校や行政との取り組み連携を強める予定。
・安曇野市の過疎地域の活性化にも取り組んでおり、ふるさと納税の活用についても安曇野市と協議を始めている。
・安曇野市と長野県カヌー協会と協定を結び、選手育成にも力を入れて地域からも応援してもらえる選手の育成にも取り組む。